

## 概要書

# マルチベース (KMB) (一般構造用支承)

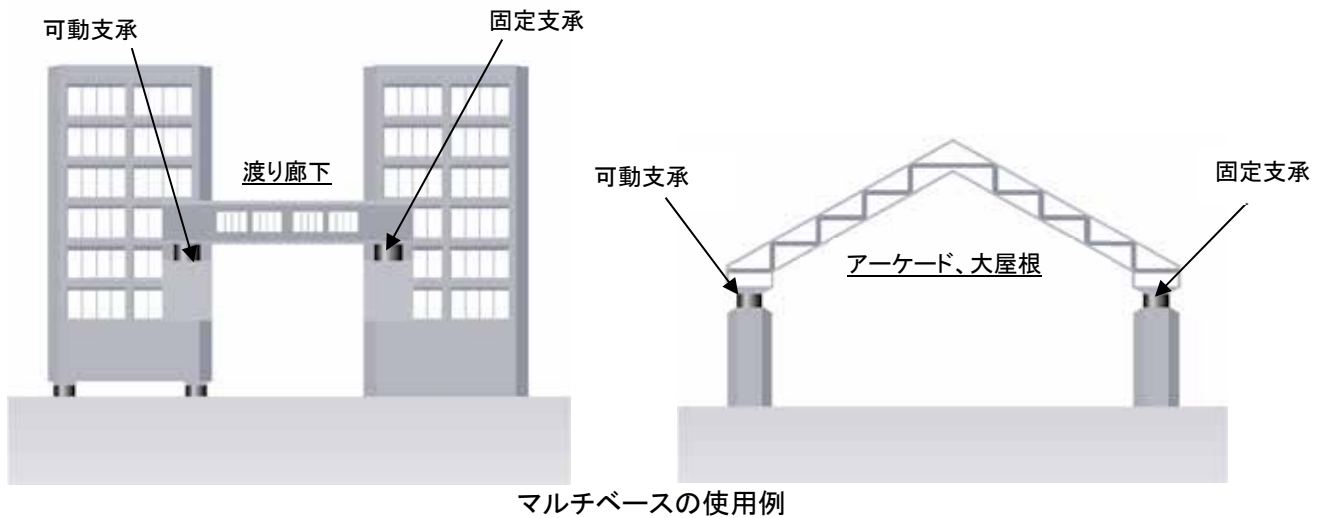


2020年5月

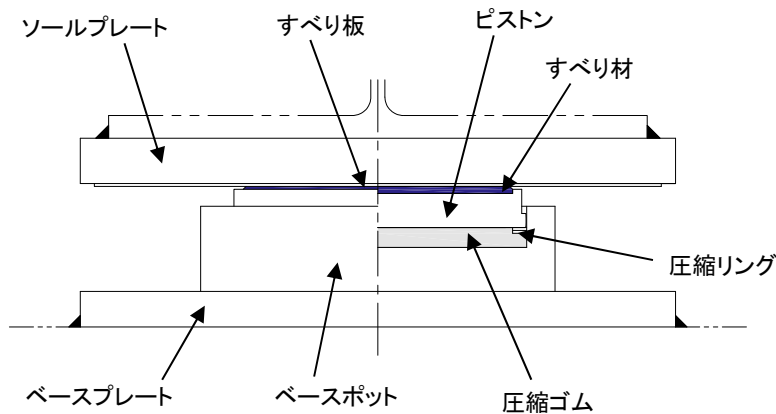
建設技術審査証明協議会会員

# マルチベースとは

渡り廊下、大屋根などの支承部に使用される固定支承及び可動支承です。

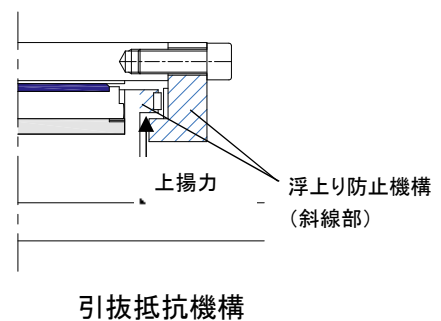
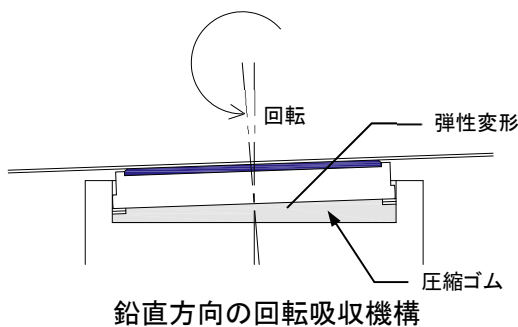


鉛直方向の回転変位は、圧縮ゴムの弾性変形により構造物の回転を吸収します。地震力等による水平変位は、すべり材とすべり板の摺動により追従します。浮上り等による上揚力は、ベースポットの突出部とL字型のレール突出部により抵抗する機構となっています。



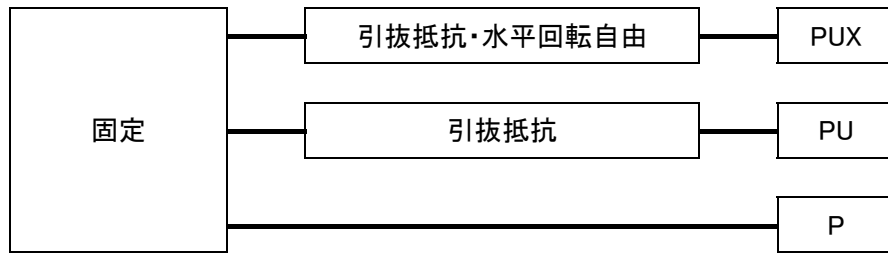
マルチベースの基本構造

部品	材質
ベースポット等の鋼材	SS400,S45C 他
六角ボルト	強度区分: 6.8, 8.8
六角穴付ボルト	強度区分: 10.9 以上
すべり板	SUS304, SUS316
すべり材	ポリアミド
圧縮ゴム	クロロプレンゴム

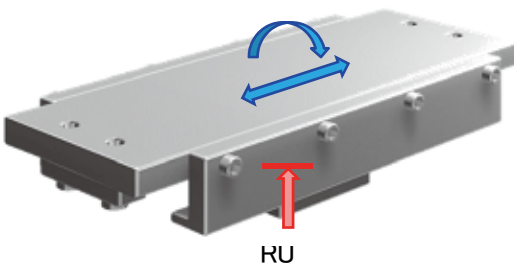
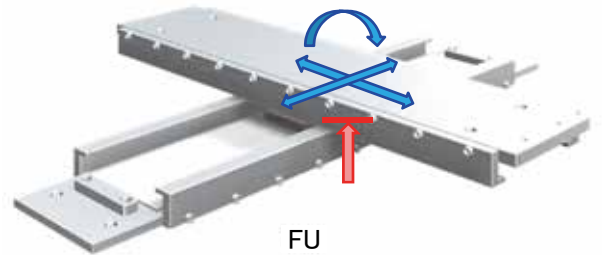
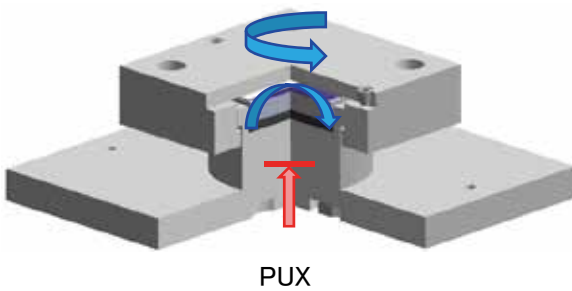
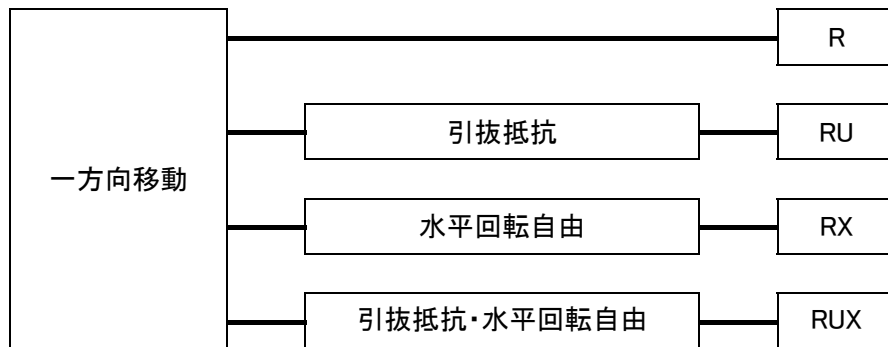
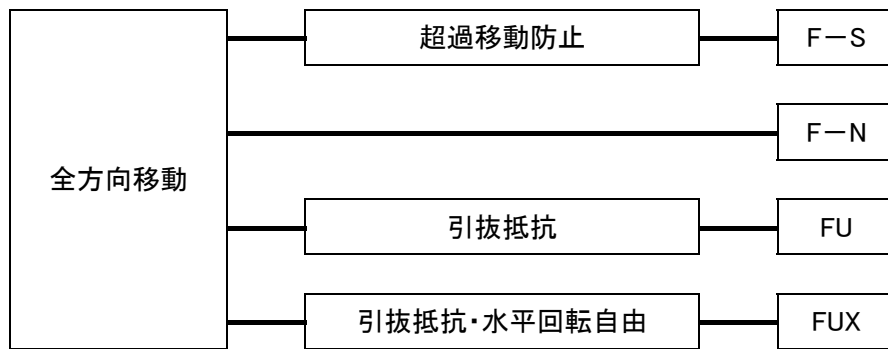


# 支承の型式

## ・固定支承



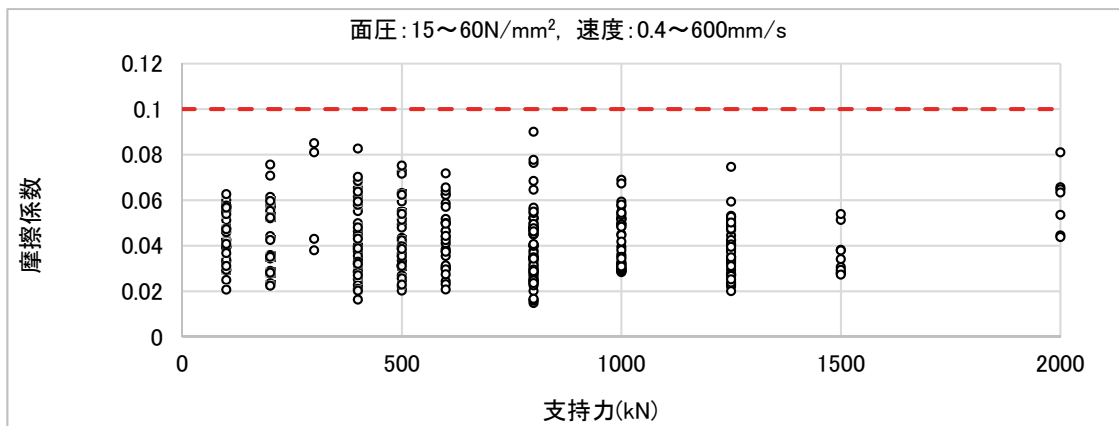
## ・可動支承



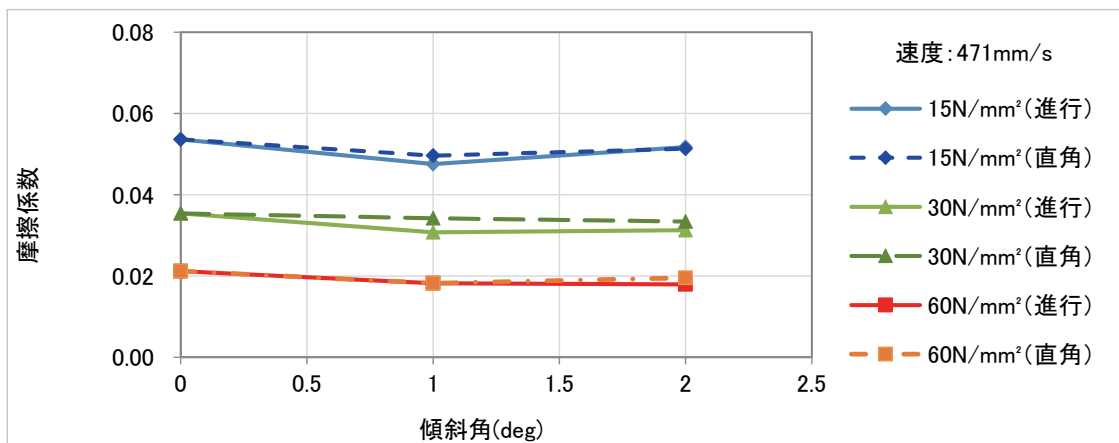
FU 製作例

## マルチベースの特徴

- ・摺動試験（温度、速度、面圧依存性、繰返し回数の影響）の試験結果より、すべり材とすべり板との摩擦係数は0.1以下です。
- ・傾斜角（0°, 1°, 2°）を変化させた鉛直載荷試験および摺動試験を実施し、傾斜角が2°まで変化しても摩擦係数は概ね変わらないことを確認しています。
- ・長時間の使用に対して、5万回繰返し試験を実施し、繰返し载荷を受けていない試験体と比較して、摩擦係数に大きな差異がないことを確認しています。また、クリープ試験を実施し、すべり材、圧縮ゴムが長時間の使用に対して、鉛直支持性能を維持できることを確認しています。



摩擦係数試験結果



傾斜角と摩擦係数の関係

## 依頼者(技術内容及び報告書の入手に関するお問い合わせ先)

株式会社川金コアテック 〒332-0015 埼玉県川口市川口 2-2-7  
TEL 048-259-1118 FAX 048-259-1141